



日々の充電管理がよりスムーズに
多機能充電モード



自動充電や均等充電、予約充電と3つの充電モードを搭載。また、現在の充電状況を液晶ディスプレイに表示するので、充電管理をスムーズに行えます。



1 自動充電

充電プラグをコネクタに差し込み、自動ボタンを押すと充電を開始。また、10回に1回、自動的に均等充電も行います。(定置式充電器は除く)

2 予約充電

オペレーターの希望する時刻に充電を開始。複数車両充電時に開始時間をずらして電力ピークを分散できます。

3 均等充電

過放電した場合など、充電開始時に均等ボタンを押すとバッテリーセルの電圧が均等になるように充電が行えます。

充電事故を未然に防ぐ

充電監視システム Option



充電中のトランス部と充電プラグ部の状態をシステムで監視。万が一発火の危険性のある異常温度を検知した場合、充電を速やかに停止し警告音を鳴らしてお知らせします。

※本システムは補助機能です。全ての状況下での火災を防止するシステムではありません。

過放電時にバッテリーを保護

過放電リフトロック Option



液晶ディスプレイのバッテリー残量目盛りが2以下となるとリフト上昇操作を制限。万が一の過放電時にバッテリーを保護します。

※バッテリー残量がなくなるまでの使用はバッテリーの寿命を短くする原因になります。液晶ディスプレイに「バッテリー充電してください」のメッセージが表示されたら、速やかな充電をお願いします。

作業性と安全性を両立する形状
取手付き充電プラグ

持ち手がついて抜き差しが容易になり、コネクタの差し込み不良などによるプラグ破損や焼損を防ぐ、ガングリップタイプの取手付き充電プラグを採用しています。



※動画はリーチ型車両での解説です

高稼働ユーザーのバッテリー交換を容易化

バッテリー下部差込仕様 Option

バッテリーの下部にフォークポケットを設けることで、別のフォークリフトを使用してバッテリーを交換できるオプションです。バッテリー交換の容易化と安全性向上により、稼働率の高い現場での効率の良い運用サイクルを可能とします。

※FB9P、FBB20P、FBB25PIには設定がありません。



バッテリーメンテナンス作業を大幅に効率アップする
自動補水装置 補水くん Option



充電器のスイッチをONにすると、ポンプ内蔵の補水タンクから必要量の精製水を自動的に補水。補水に関する作業時間を大幅に短縮し、バッテリーに大きなダメージを与える補水忘れの心配もなくなります。



Point1 補水時間を大幅に短縮

稼働時間が長く、バッテリー容量の大きい車両ほど、補水作業が大変です。「補水くん」なら、補水タンクに精製水を補給するだけです。

Point2 補水忘れを防止

補水忘れはバッテリーに大きなダメージを与えます。「補水くん」なら必要に応じて補水するので安心です。(補水タンクへの給水は必要です)

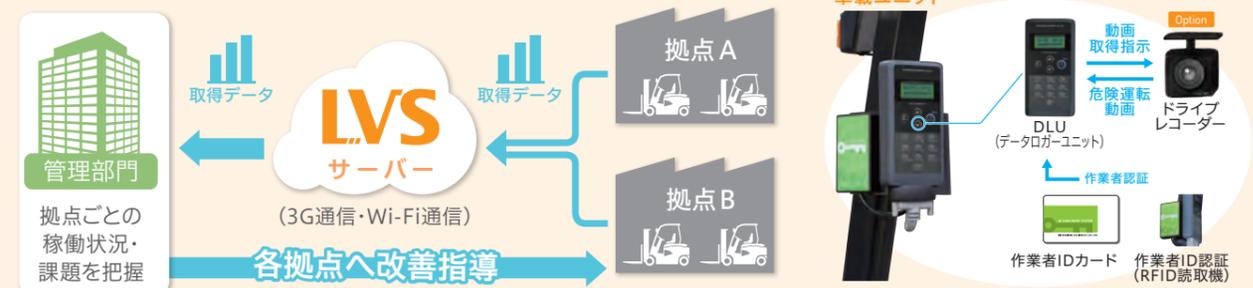
Point3 二重の過補水防止装置付で安心

- 補水開始後、補水管の圧力上昇を検出して補水を停止します。(補水完了後自動的にストップします)
- 最長7分のバックアップタイマーで圧力スイッチ故障時の過補水を防止します。(学習機能付)

LVS

作業現場の「見える化」を実現する「LVS」
-フォークリフト稼働管理システム- Option

LVS(Logistics Vehicle Support)とはフォークリフトに専用の通信機器を取り付けることで、各拠点で保有している車両ごとの走行距離や荷役実績データをクラウドサーバー上で保存、管理することができるシステムです。目には見えない情報を数値化することで各車両、各拠点の稼働状況を把握し、その情報を元に物流現場改善へ繋げることができるオプションです。



取得可能データ 現場の状況をシステムで見える化!

- フォークリフト別稼働状況一覧
- フォークリフト別日報月報
- 危険操作状況一覧
- 運転者別稼働状況一覧
- 運転者別日報月報
- バッテリー状況一覧



システム画面例

適正な運用を実現することで

生産性を向上

車両の稼働時間や走行距離のデータから、車両の待ち時間やムダを把握し、拠点ごとに適正な車両台数を把握することができます。

運転量を把握することで

安全性を向上

危険運転回数をカウントし運転量を把握することで、安全運転の啓蒙・指導を行うことができます。また、オプションのドライブレコーダーと連携させることで事故発生時の原因究明に役立てることができます。

稼働状況や運用の把握で

メンテナンス性を向上

稼働情報から使用頻度の高い車両に対して予防的な保守点検を実施することで、故障率の低減に貢献します。また、適切なバッテリー管理を行うことができます。